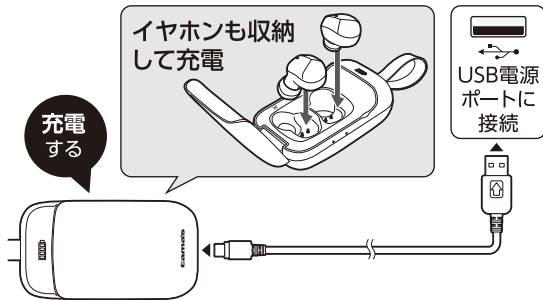


簡単 ペアリング接続ガイド

ご購入後初めて、Bluetoothフルワイヤレスイヤホンをご使用する際にはスマートフォンとのペアリング接続操作が必要です

- 1** はじめに**充電クレードルとイヤホンを充電**してください。

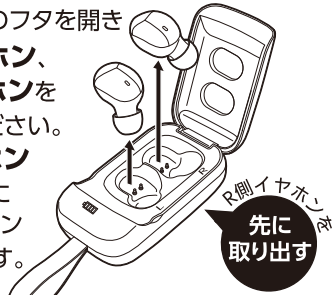


- 2** スマートフォンの**Bluetooth設定をON**にしてください。

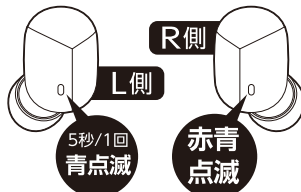


① ペアリング操作時、イヤホンの取り出し順にご注意ください

- 3** 充電クレードルのフタを開き**先にR側イヤホン、次にL側イヤホンを取り出してください。**
自動的に**イヤホンの電源がON**になり、左右イヤホン同士が接続します。



- 4** **R側イヤホンのLEDが赤青点滅**になります。
L側イヤホンは約5秒間隔で青点滅します。



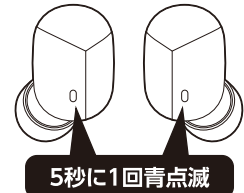
- 5** スマートフォンを操作して**「BS37」を選択**してください。



- 6** スマートフォンと接続されると左右イヤホンの**LEDが約5秒に1回青点滅**します。

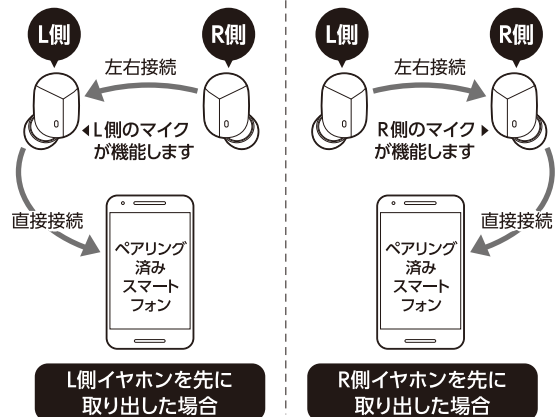
ペアリング完了です

耳に装着してご使用ください。



本製品は**一度ペアリングしたスマートフォンと再度接続**する場合には、充電クレードルから**どちら側のイヤホンを先に取り出しても正しくスマートフォンとの接続が可能**です。

※その際、スマートフォンと直接接続したイヤホン側のマイクのみが機能します。



※さらに詳しいご使用方法に関しては、別紙の取扱説明書をご確認ください。

Bluetooth フルワイヤレス イヤホン 取扱説明書



安全上のご注意

本取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。また、ご使用になる接続機器の取扱説明書の「Bluetooth」に関する項目もあわせてお読みください。取扱説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。ここに記した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

被害事象：異常発熱・火災・感電・事故・誤飲・破裂・ケガ・熱傷など。

- 医療機器の正常動作を損なう恐れがあるため、心臓ペースメーカーなど、電子機器を装着した人、および他の電子機器へマグネットを近づけない。
- 車の運転中は操作しない。
- 分解・改造をしない。
- 温水、温泉水、石鹸水、入浴剤などの入った水、海水などは付着させない。
- 水没させない・濡れた状態で充電しない。
- 製品に金属などを差し込まない、接続端子を金属などでショートさせない。
- 無線機器の取扱いに関して指示がある区域などでは、その指示に従う。
- 指定の電圧以外の電源で使用しない。
- 使用前に各接続部を確認し、ホコリなどの付着や接続部の変形・破損したものは使用しない。
- 睡眠中は使用しない。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具などのそばや、湿度の高い場所で充電・使用・保管しない。
- 乳幼児・小児の手の届く場所で充電・使用・保管しない。
- 使用しない場合、全ての接続箇所をはずし、安全な場所に保管する。接続したまま放置しない。
- 当社製以外のケーブルを接続しない。
- 充電器やパソコンなどの出力端子同士を接続しない。
- 使用時に接続部を確認してまっすぐ接続し、無理な力を加えて接続しない。
- 火中に投入しない。電子レンジ、オーブンなどで加熱しない。
- 音がなりはじめたら、安全のため本製品や接続されている各機器にさわらない。
- 重い物を載せたり、落下しやすい場所、磁気、ホコリの多い場所に置かない。
- お手入れの際は、各接続部を取りはずす。
- 投げたり、衝撃を与えない。
- 大きな音量で長時間聴いて聴かない。

注意

人が軽傷および物的損害を負う可能性が想定される内容。

被害事象：出力せず・反応せず・断線・腐食・破損・故障・ケガなど。

- 接続端子電極部に水分を付着させたり、結露した状態で使用しない。
- 充電対象機器を充電中に、本製品や充電対象機器が極端に熱くなったり異常を感じた場合は使用しない。
- 5℃から 35℃の屋内環境で使用。それ以外の環境では使用しない。
- 0℃から 40℃の風通しの良い屋内環境で保管する。
- マグネット部をアナログ時計、磁気記録媒体（磁気カード、磁気テープ、プリペイドカードなど）、メモリーなどの記録媒体に近づけない。
- コネクタをはずす際は、コネクタ本体を持っておこなう。ケーブルを持って強く引っ張らない。
- 内蔵電池が液漏れした場合、素手でさわらない。失明の恐れがあるので、液を目に触れないようにする。万一、液が目に入った場合は水道水で十分洗い、医師の治療を受ける。液が服についても水道水などで十分洗い流す。皮膚に異常が有る場合、医師に相談する。
- 歩行中は、周囲に十分注意する。
- 本機を接続する前に、接続する機器の音量を下げておく。
- 本機を使用中に不快感など異常を感じた場合は使用を中止する。
- 本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない。

使用上のご注意

- 本製品は、運転中や周囲の音が聞こえないと危険な状況では、事故の原因となりますので、ご使用にならないでください。
- 本製品をご使用になる時は音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長時間聴いて聴くと聴力に悪い影響を与える原因となります。
- ご使用になるアプリケーションや接続機器によっては本製品の各機能に対応していない場合や、対応しているにも相性により動作が不安定な場合があります。※アプリケーションごとの動作検証はおこなっておりません。
- 接続機器のOSバージョンアップなどにより、接続不具合が生じる場合がありますが、接続機器側のOSに依存するため、本製品側では対応できない場合があります。
- 本製品のタッチセンサー部は人体以外に金属にも反応するため、誤動作の原因となりますので、イヤホンのタッチセンサー部を金属に触れさせないようにご注意ください。
- タッチセンサー部の誤動作を防ぐために持ち運びの際は、イヤホン充電クレードルに収納してください。
- イヤークリップを装着する際はサイズを確認して取り付けてください。万一、イヤークリップがはずれて耳に残った場合、無理に取り出さないで医師の治療を受けてください。
- 本製品を耳に装着し通話や音楽再生中、接続機器をポケットやバッグの中に入れても電波が遮蔽され、音が途切れる場合があります。
- 本製品をポケットやバッグの中に入れて持ち運ぶ際は強い力が加わらないようご注意ください。本製品の破損、故障の原因となります。
- 本製品には電池が内蔵されています。出荷時には十分に充電されていませんので、必ずご使用前に充電してください。
- 充電クレードルの充電には、必ず付属の充電用USBケーブルをご使用ください。
- 充電端子に触れたり、クリップなどの金属を接触させないでください。感電やショートによる破損やケガの原因となります。
- 充電した後も使用時間が極端に短くなった場合は内蔵電池の寿命です。
- 内蔵電池は交換できません。あらかじめご了承ください。
- 内蔵電池が完全に放電していると、充電中の表示LEDが点灯するまでしばらく時間がかかる場合があります。
- 内蔵電池の残量が少ない状態で使用すると、内蔵電池の性能を低下させる要因となる場合があります。ご使用前には毎回充電するようにしてください。
- 内蔵電池は自然放電するため、保管の際は約1ヶ月に1回は必ず充電してください。またご使用前には、充電してからご使用ください。
- 本製品は完全防水ではありません。本体を水洗いする、シャワーにあてる、水に沈めるなどの行為は、故障の原因となるのでおこなわないでください。お客様の誤った使用が原因の浸水による故障の場合は保証外となります。
- 温水、温泉水、石鹸水、入浴剤などの入った水、海水などは付着させないでください。
- イヤホン部やマイク部に水が付着すると、音がかもったり聞こえにくくなる場合があります。付着した水気は、柔らかい布などで拭き取り、乾燥させてからご使用ください。
- 使用後は、乾いた布で水分を拭き取り、乾いた場所で本製品を保管してください。
- 乾かすために高温のドライヤーを使用したり、暖房器具の前に置いたりしないでください。
- 充電する場合は、本製品や手が濡れていないことを確認してください。
- 付属の充電クレードル、充電用USBケーブルは防水仕様ではありません。

防水性能について

本製品は防水仕様（防水性能等級：IPX4準拠）となっておりますが、多量の水濡れや水没など、取り扱いの仕方によっては故障の原因となります。下記の注意をお読みになり正しくお使いください。

- 本製品は完全防水仕様ではありません。本体を水洗いする、シャワーにあてる、水に沈めるなどの行為は、故障の原因となるのでおこなわないでください。お客様の誤った使用が原因の浸水による故障の場合は保証外となります。
- 温水、温泉水、石鹸水、入浴剤などの入った水、海水などは付着させないでください。

防水に関する ご注意

- イヤホン部やマイク部に水が付着すると、音がかもったり聞こえにくくなる場合があります。付着した水気は、柔らかい布などで拭き取り、乾燥させてからご使用ください。
- 使用後は、乾いた布で水分を拭き取り、乾いた場所で本製品を保管してください。
- 乾かすために高温のドライヤーを使用したり、暖房器具の前に置いたりしないでください。
- 充電する場合は、本製品や手が濡れていないことを確認してください。
- 付属の充電クレードル、充電用USBケーブルは防水仕様ではありません。

Bluetooth 2.4GHz 電波について

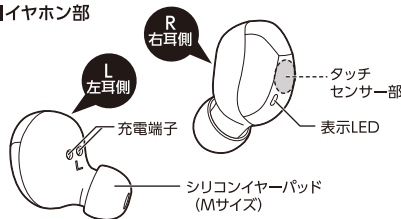
本製品は2.4GHz帯の電波を利用しています。電波の特性上、「信号機など交通信号システムが多く設置されている場所」・「WiFiアンテナが多く設置されている場所」・「満員電車内など同じ2.4GHz帯電波機器の使用密度が高い場所」での使用環境では通信が途切れたりする場合がありますが製品不良ではありません。

Bluetooth (Class2) 最大通信距離

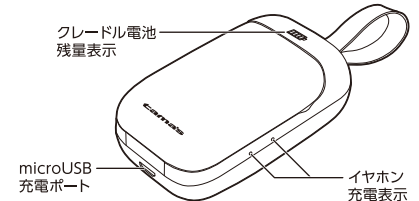
本製品の通信距離は、見通し距離で最大約10mまで通信が可能です。※使用状況などにより通信距離が短くなる場合があります。

1. 製品構成と各部の名称

■イヤホン部



■充電クレードル部



※本製品のマイクはR側イヤホン、L側イヤホンにそれぞれに搭載されていますが、ご使用時にはスマートフォンと直接接続したイヤホン側のマイクのみ機能します。

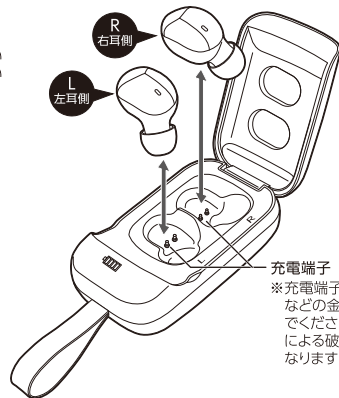
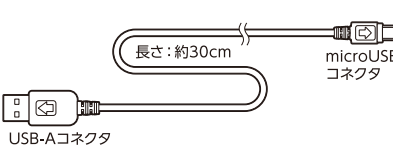
充電クレードルにはリチウムイオンポリマー電池が内蔵されています。充電クレードルが満充電状態の場合、イヤホン最大約2回充電することができます。※使用状況などにより異なります。

■イヤークリップ

本製品にはS・M・Lの3サイズのシリコンイヤークリップを付属しています。（出荷時はMサイズを装着）Mサイズが耳穴にフィットしない場合は、Sサイズ、Lサイズに交換してください。



■充電用USBケーブル（充電クレードル用）



！ 本製品を使用しない時には・・・

- ※長時間使用しない場合は、充電クレードルからイヤホンを取り出して保管してください。イヤホン充電クレードルに収納した状態で、イヤホンへの電流供給が続き、充電クレードルの電池が消費されて無くなります。
- ※長時間使用しなかった時には、充電クレードルとイヤホン必ず充電してからご使用ください。

2. 充電方法

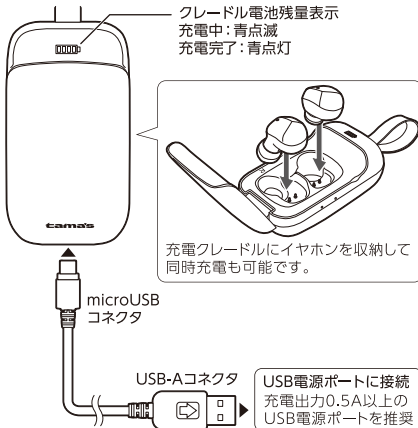
ご使用前に必ず充電してください

- ❶ 充電する前に水分や異物の付着が無いことを確認してください。

本製品および充電クレードル、充電用USBケーブルに水分や異物の付着がある状態で充電すると、故障や感電の原因となります。必ず、充電前に水分や異物の付着が無いことを確認し充電をおこなってください。

充電クレードルの充電方法

- 充電クレードルのmicroUSB充電ポートに付属の充電用USBケーブルを差し込み、USB電源ポートに接続してください。
- 充電クレードルの充電中にはクレードル電池残量表示が点滅します。充電完了時、クレードル電池残量表示が点灯します。
※充電クレードルの満充電に要する時間は空の電池状態から約2時間です。



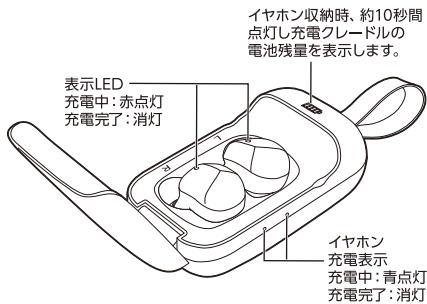
❶ 接続方向を間違わないでください。

コネクタは精密パーツです。着脱の際はコネクタ本体を持って接続の向きをご確認のうえ、慎重におこなってください。万一、誤った向きで接続され、それに起因する故障、トラブルが生じても、当社では責任を負いかねます。

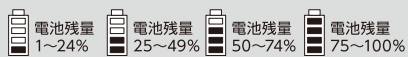
- ※本製品付属の充電用USBケーブルに他のUSB機器を接続しないでください。
- ※充電中は、本製品はご使用できません。
- ※充電クレードルの充電完了後は必ず、充電用USBケーブルをはずしてください。USB電源ポートからも充電用USBケーブルをはずしてください。

イヤホンの充電方法

- 充電済みの充電クレードルにイヤホンを収納するとイヤホンの表示LEDが赤点灯し、充電が開始されます。この時クレードル電池残量表示が約10秒点灯しクレードルの電池残量を表示します。またイヤホン充電中は、充電クレードル側面のイヤホン充電表示が青点灯します。
- イヤホンの充電が完了するとイヤホンの表示LEDが消灯します。イヤホンの充電が完了すると充電クレードル側面のイヤホン充電表示も消灯します。
※イヤホンを満充電に要する時間は空の電池状態から約1.5時間です。



❶ 充電クレードルの電池残量表示について



イヤホンを収納しても、クレードル電池残量表示が点灯しない場合は、クレードルの電池残量が0%です。クレードルを充電してください。

❶ 充電クレードルの電池残量が無くなると、イヤホンの電源がONになりますのでご注意ください。

- イヤホン電源ON時に、接続可能スマートフォンが近くにある場合はイヤホンはスマートフォンと接続されます。
- イヤホン電源ON時に、接続可能スマートフォンが近くに無い場合、イヤホンは約5分間ペアリングモードになり、その後イヤホンの電源は自動的にOFFになります。

充電クレードルの電池残量が無くなった場合は、充電クレードルを充電するか、イヤホン単体で電源操作をおこない電源をOFFにしてください。また、スマートフォンとの誤接続を避けるためイヤホンを使用しない時には、スマートフォン側のBluetooth設定をOFFにしてください。

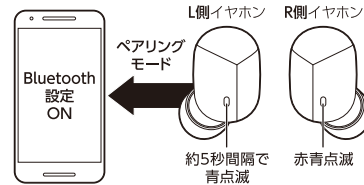
3. スマホやタブレットとのペアリング・接続

初めてご使用の際には、スマホやタブレットとイヤホンをそれぞれ接続相手として登録（ペアリング）する必要があります。※パソコンでご使用の場合は別紙【パソコンとの接続方法】をご覧ください。

- スマートフォンと充電済みの充電クレードルに収納したイヤホンを1m以内に置き、途中で障害になる物がないことをご確認ください。スマートフォンのBluetooth設定をONにしてください。

- 充電クレードルのフタを開き、先にR側イヤホンを取り出し、次にL側イヤホンを取り出してください。
イヤホンの電源が自動的にONになります。
先にR側イヤホンを取り出す。次にL側イヤホンを取り出す。

- イヤホンがペアリングモードになると、R側イヤホンの表示LEDは赤青点滅し、L側イヤホンの表示LEDは約5秒間隔で青点滅します。



イヤホン電源ON後、下記ボイスアナウンスが流れます。

- 左右イヤホンから、「電源が入りました」の音声。
- イヤホン同士の接続後、左右イヤホンから、「ペアリングしています」の音声。

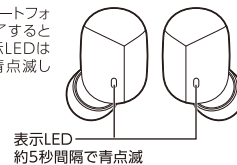
- ※一度ペアリングしたスマートフォンがBluetooth設定ONの状態に近くにあると、イヤホンがそのスマートフォンとの接続を優先するためペアリングモードにはなりません。新たな機器とペアリングをおこなう際は既にペアリング済み機器のBluetooth設定をOFFにしてください。
- ※約5分以内にペアリングが完了できない場合、ペアリングモードが自動で解除され、本製品の電源は自動的にOFFになります。

- スマートフォンのBluetooth設定方法に従い、ペアリングをおこないます。スマートフォンが本製品を認識すると、画面の接続機器リストに本製品の型式名が表示されるので、スマートフォンを操作し選択してください。



- ※スマートフォンにより設定方法が異なりますので、必ずスマートフォンの取扱説明書をお読みいただき、ご不明な点は各通信会社までお問い合わせください。

- イヤホンとスマートフォンの接続が完了するとイヤホンの表示LEDは約5秒間隔で青点滅します。



スマートフォンと接続時、下記ボイスアナウンスが流れます。

- 左右イヤホンから、「接続しました」の音声。

一度ペアリングをおこなえばスマートフォンやイヤホンの電源を切ったりBluetooth機能をOFFにするなどで接続が切れた場合でも、次に使用する際に再度ペアリング操作をおこなう必要はありません。ただし、「接続」については、自動で接続までおこなう機種と、スマートフォンによる接続操作が必要な機種があります。スマートフォンによる接続操作については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

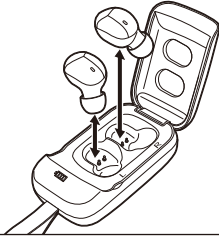
- ※以下の場合は再ペアリングが必要になります。
 - 本製品は最大3台までのペアリング情報を登録できます。4台目のスマートフォンとペアリングをおこなうと1台目にペアリングをおこなったスマートフォンのペアリング情報が削除されます。ペアリング情報が削除されたスマートフォンを接続する場合は、新たにペアリング操作をおこなってください。
 - スマートフォンから本製品とのペアリング情報が削除された場合。
 - ペアリング情報が正しく認識できなくなったり、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合には、スマートフォンからペアリング情報を削除し、本製品を初期化して、再度ペアリングの操作をおこなってください。

4. 電源の入れ方、切り方

※下記の操作は充電済みの充電クレードルでおこなってください。

- ①充電クレードルのフタを開き、イヤホンを取り出してください。イヤホンの電源が自動的にONになります。
- ②イヤホンの電源を切る場合は、充電済みの充電クレードルにイヤホンを取込んでください。イヤホンの電源がOFFになります。

取り出して→電源ON
収納して→電源OFF



1 充電クレードルの電池残量が無い場合は・・・

電池残量が無い状態の充電クレードルからイヤホンを出し入れしても、イヤホンの電源は自動でON/OFFしません。充電クレードルの電池が無い場合は、充電クレードルを充電するか、イヤホン単体で電源操作をおこなってください。

※ご購入後、初めて電源をONにした場合やBluetooth設定ON状態のペアリング済みスマートフォンが近くに無い場合などには、イヤホンは自動的にペアリングモード(LED赤青交互点滅)になります。

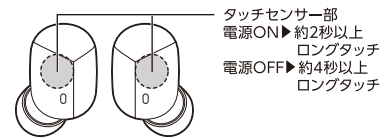
1 イヤホン収納時に充電クレードルの電池残量が無くなった場合は・・・

※イヤホン収納時に充電クレードルの電池残量がなくなると、イヤホンの電源が自動的にONになりますのでご注意ください。

※充電クレードルの電池残量がなくなった場合は、充電クレードルを充電するか、イヤホン単体で電源操作をおこない電源をOFFにしてください。また、スマートフォンとの誤接続を避けるためイヤホンを使用しない時には、スマートフォン側のBluetooth設定をOFFにしてください。

イヤホン単体での電源の入れ方、切り方

- ①左右イヤホンのタッチセンサー部をそれぞれ約2秒以上ロングタッチすると表示LEDが青点滅し電源がONになります。
- ②電源を切る場合は、左右イヤホンのタッチセンサー部をそれぞれを約4秒以上ロングタッチしてください。表示LEDが赤点滅し、イヤホンの電源がOFFになります。



イヤホン電源ON後、下記ボイスアナウンスが流れます。

- ①左右イヤホンから、「電源が入りました」の音声。
- ②イヤホン同士の接続後、左右イヤホンから、「ペアリングしています」の音声。
- ③左右イヤホンから、「接続しました」の音声。

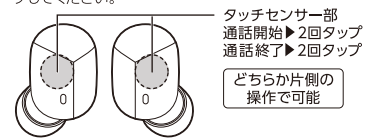
イヤホン電源OFF後、下記ボイスアナウンスが流れます。

イヤホンから「電源が切れます」の音声。

5. 電話操作

電話を受ける

- ①スマートフォンに着信したら、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。着信通話が開始されます。
- ②通話を終了するには、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。



※イヤホンから聞こえる着信音は、スマートフォンに設定した音とは異なる場合があります。

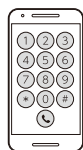
※スマートフォン本体から着信音が鳴動するように設定している場合、イヤホンからは着信音が聞こえない場合があります。

※通話状態になるまで、少しタイムラグが発生する場合があります。

※スマートフォンと直接接続したイヤホン側のマイクのみが機能します。

電話をかける

- ①電話をかけるには、スマートフォン側で発信操作をおこなってください。



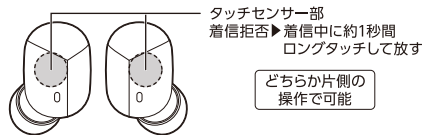
発信操作はスマートフォンでおこなう

- ②通話を終了するには、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。

※スマートフォンにより、自動的に本製品での通話が開始できない場合があります。その場合は発信後、スマートフォンを操作して音声通話を本製品に切り替える必要があります。スマートフォンの操作方法につきましては、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。※本製品の操作でスマートフォンとの音声通話の切り替えはできません。

着信拒否

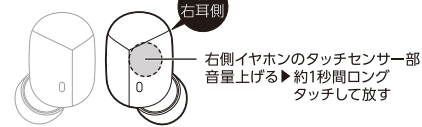
着信中に、タッチセンサー部を約1秒間、ロングタッチすると着信を拒否することができます。



※着信拒否時の動作は、スマートフォンや設定により異なります。例)着信を遮断する・接続できない旨のアナウンスが流れる・留守番電話サービスに接続するなど、詳しくはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。※スマートフォンによっては本機能に対応していない場合や対応していても相性により動作が不安定な場合があります。※約4秒以上ロングタッチするとイヤホンの電源が切れますのでご注意ください。

音量UP

右側イヤホンのタッチセンサー部を約1秒間、ロングタッチすると音量を上げることができます。



※スマートフォンやアプリによっては、音量設定が必要な場合があります。スマートフォンの音量設定方法につきましてはスマートフォンの取扱説明書やアプリの使用方法などをご覧ください。

音量DOWN

左側イヤホンのタッチセンサー部を約1秒間、ロングタッチすると音量を下げるができます。



※スマートフォンやアプリによっては、音量設定が必要な場合があります。スマートフォンの音量設定方法につきましてはスマートフォンの取扱説明書やアプリの使用方法などをご覧ください。

6. 音楽再生/オーディオビジュアル再生操作

スマートフォンが機器操作機能(AVRCP)に対応している場合は、イヤホンでスマートフォンの音楽再生(基本操作)ができます。また本製品は、SCMS-T方式で保護されたワンセグ/フルセグ音声にも対応しています。

※スマートフォンがA2DP・AVRCPプロファイルに対応していない場合はご使用できません。

※スマートフォンがSCMS-T方式に対応していない場合はご使用できません。

※スマートフォンによっては、全ての操作に対応しない場合があります。

※apt-X対応機器でご使用時に音声が聞こえない場合は... apt-XはSCMS-Tに対応していません。スマートフォン側でapt-Xを利用しない設定にして再度接続をおこなってください。

※スマートフォンの設定により着信音がイヤホンから聞こえない場合があります。詳しくはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

※スマートフォンによっては、通話終了後自動で音楽再生に戻らない場合があります。その場合は、スマートフォンで音楽再生をおこなってください。

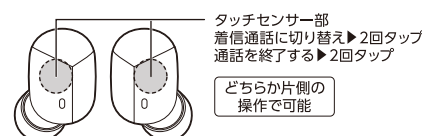
音楽の再生/停止

- ①イヤホンのタッチセンサー部を2回タップすると音楽が再生されます。
- ②再度、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップすると音楽が停止します。



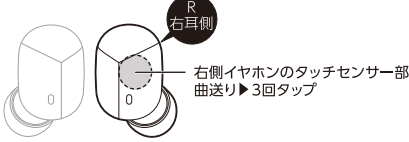
音楽再生中に着信通話をする

- ①スマートフォンに着信があると、音楽が一時停止し、イヤホンから着信音が聞こえます。
- ②イヤホンのタッチセンサー部を2回タップすると、通話状態になります。
- ③通話を終了するにはイヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。通話終了後、音楽再生に戻ります。



音楽の曲送り

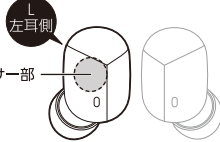
音楽再生中に右側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップすると、次曲に曲送りされます。
※フンセグ/フルセグ視聴時、上記操作でチャンネルを一つ送ることができます。



音楽の曲戻し

音楽再生中に左側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップすると、曲頭に曲戻しされます。
※フンセグ/フルセグ視聴時、上記操作でチャンネルを一つ戻すことができます。

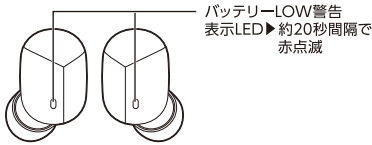
続けて左側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップすると、前曲に曲戻しされます。



7. その他の機能

バッテリーLOW警告

内蔵電池の電圧が要充電レベルまで低下したイヤホン側の表示LEDが約20秒間隔で赤点滅します。バッテリーLOW警告が出た場合は必ず、充電をおこなってください。

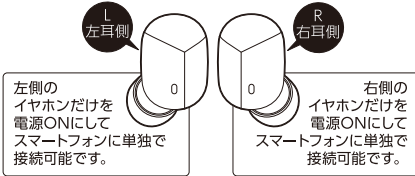


バッテリーLOW警告時には、下記ボイスアナウンスが流れます。

内蔵電池の電圧が要充電レベルまで低下したイヤホン側から約20秒間隔で、「電池残量が低下しました、充電してください」の音声。その後、電池が無くなると「電源が切れます」と音声の流れイヤホンの電源がOFFになります。

片側のイヤホンだけで使用できます

充電クレードルから片側のイヤホンだけを取り出して使用することができます。どちら側のイヤホンでも通話が可能です。
※音楽再生時の一部操作(音量UP/音量DOWN、曲送り/曲戻し)は使用するイヤホン側に設定された機能のみに限定されます。
※片側のイヤホンだけでスマートフォンに接続した時の音声はモノラル音声になります。



10. イヤホン部仕様

型式名	BS37	内蔵バッテリー	リチウムイオンポリマー電池
通信方式	Bluetooth 5.0	充電時間	約1.5時間※
最大通信距離	見通し距離約10m(Class2)	連続通話時間	最大約2.5時間※
対応プロファイル	HSP/HFP/A2DP/AVRCP	音楽再生時間	最大約4時間※
対応コーデック	SBC	待受け時間	最大約50時間※
ペアリング	最大ペアリング登録3台	サイズ(片側)	約W19×H26.5×D24mm
動作周波数	2.40GHz~2.48GHz	重量(片側)	約4g
認証コード	0000(ゼロ4つ)	材質	ABS他

※使用状況などにより異なります

11. 充電クレードル部仕様

内蔵バッテリー	リチウムイオンポリマー電池	サイズ	約W43.5×H76×D27.5mm
充電時間	約2時間※	重量	約40g
イヤホン充電回数	最大約2回※	材質	ABS他

※使用状況などにより異なります

12. 充電用USBケーブル仕様

USB端子	USB Aコネクタ/microUSB	重量	約15g
ケーブル長	約30cm	材質	PVC他
ケーブル定格	DC5V/1A		

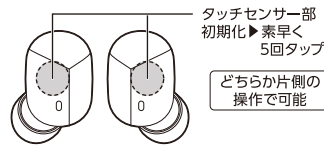
8. イヤホンの初期化(リセット)

ペアリング情報が正しく認識できなくなったり、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合には、スマートフォンからペアリング情報を削除し、本製品を初期化して工場出荷状態に戻し、再度ペアリングの操作をおこなってください。

①本製品の初期化操作前にスマートフォン側、接続機器リスト内の型式名「BS37」は、スマートフォンで操作し必ず削除してください。

②左右のステレオイヤホンの電源を入れてください。どちらか片側のイヤホンのタッチセンサー部をそれぞれ素早く5回タップしてください。ステレオイヤホンが工場出荷時の状態に初期化されます。初期化後、イヤホンの電源はOFFになります。
※片側イヤホンの電源がOFFの状態では正しくリセットできません。

③イヤホンを充電済みの充電クレードルに収納し、【3. スマホやタブレットとのペアリング・接続】の手順に従い、再度スマートフォンとのペアリング・接続操作をおこなってください。



9. 操作一覧

動作・状態	操作方法	表示 LED	ボイスアナウンス電子音
イヤホンの充電	イヤホンを充電クレードルに収納	充電中：赤点灯 / 充電完了：消灯	—
充電クレードルの充電	充電クレードルに付属の充電用 USB ケーブルを接続	クレードル電池残量表示が充電中：点滅 / 充電完了：点灯	—
電源 ON	充電クレードルからイヤホンを取り出す イヤホンのタッチセンサー部を約2秒以上タッチ	スマートフォンと非接続時 ペアリングモード：赤青点滅 スマートフォンと接続時 青点滅(約5秒間隔)	「電源が入りました」
電源 OFF	充電クレードルにイヤホンを収納 イヤホンのタッチセンサー部を約4秒以上タッチ	充電中：赤点灯 / 充電完了：消灯 赤3回点滅後、電源 OFF	「電源が切れます」
ペアリング	初めてペアリングするスマートフォンの近く(約1m以内)でイヤホンの電源をONにする	R側イヤホン ペアリングモード→赤青点滅 L側イヤホン 青点滅(約5秒間隔)	「電源が入りました」→「ペアリングしています」 スマートフォンと接続時 「接続しました」
待受け状態(スマートフォンと接続時)	—	青点滅(約5秒間隔)	—
スマートフォンとの接続が切断した場合	—	R側イヤホン ペアリングモード→赤青点滅 L側イヤホン 青点滅(約5秒間隔)	「接続が切れました」のボイスアナウンス後ペアリングモード。※ペアリングモード約5分経過後電源 OFF
再生 / 停止	タッチセンサー部を2回タップ	—	—
曲送り	右側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップ	—	—
曲戻し	左側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップ	—	—
音量 UP	右側イヤホンのタッチセンサー部を約1秒タッチ	—	最大音量設定時「電子音」
音量 DOWN	左側イヤホンのタッチセンサー部を約1秒タッチ	—	最小音量設定時「電子音」
初期化	イヤホンのタッチセンサー部を素早く5回タップ ※初期化後イヤホンは電源がOFFになります	初期化後 赤青同時に3回点滅	「初期化します」→「電源が切れます」
バッテリー LOW 警告	—	赤点滅(約20秒間隔)	「電池残量が低下しました、充電してください」
電話に出る	イヤホンのタッチセンサー部を2回タップ	—	着信音
電話を切る	イヤホンのタッチセンサー部を2回タップ	—	—
着信拒否	イヤホンのタッチセンサー部を約1秒タッチ	—	—

13. 保証規定

保証期間 / ご購入日より **6ヶ月**

必ず、購入明細書を本書およびパッケージと一緒に保管してください。万一、修理の際は、現品に購入明細書と本書およびパッケージを添え、記載の当社住所までお送りください。なお、修理後の保証期間の延長はいたしません。

●保証期間内に、保証規定およびパッケージ記載の注意事項をお守りいただいた正しい使用状況で、万一故障した場合には本製品をお預かり後、無償で修理、または交換します。また、本製品の不具合に関連し生じた、本製品以外の損害・費用・データ損失に関しましては、一切の補償をいたしかねます。また、代替品の先送りなどのご対応はいたしかねます。※次の場合は保証対象外となります。

- 1) 本製品(修理対象品)と購入明細書、本書およびパッケージの提示がおこなれない場合。
- 2) 安全上の警告・注意に記載した事項をお守りいただけない場合。
- 3) 個人売買や正規販売店以外で、ご購入した場合。
- 4) 地震、火災、落雷、台風などの災害により故障した場合。
- 5) ご購入後、落下や衝撃などの事象により故障した場合や水没、汚れにより故障した場合。
- 6) 健康被害が生じた場合。
- 7) 本製品や付属品を紛失・破損した場合。

●本製品のご使用が事故や法令違反の原因になりましても、一切の補償をいたしかねます。
●お預かりした製品が、保証対象外と認められる場合、修理費用等、実費負担をご請求させていただきます場合がござります。あらかじめご了承ください。
●本保証書は日本国内のみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
●ご返送時にご記入いただいたお客様の個人情報は、商品の修理に関するご連絡、修理・交換の対応以外の目的に使用いたしません。なお、上記利用目的の実施に必要な範囲で、業務委託先に預託する場合があります。ご了承ください。

製造・発売元 **多摩電子工業株式会社**

〒215-0033 神奈川県川崎市麻生区栗木2-6-18
TEL 044-543-8884 受付時間:平日9:00~18:00

BS37

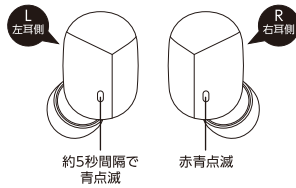
■パソコンとの接続方法 Windows 10の場合

本製品をパソコンで使用するためには、パソコンと本製品をペアリング・接続をおこなう必要があります。

記載されている手順はWindows 10、標準でBluetoothを搭載しているパソコンの手順です。※画面表示が異なる場合があります。お使いのパソコンの取扱説明書などをご確認ください。外付けUSB Bluetoothアダプタなどを使用されている場合は、そちらの取扱説明書をご確認ください。

1 本製品をペアリングモードにします。

充電クレードルから先にR側イヤホンを取り出し、次にL側イヤホンを取り出してください。イヤホンの電源が自動的にONになり、しばらくすると左右のイヤホン同士が接続し、R側イヤホンの表示LEDが赤青点滅しペアリングモードになります。L側イヤホンの表示LEDは約5秒間隔で青点滅します。



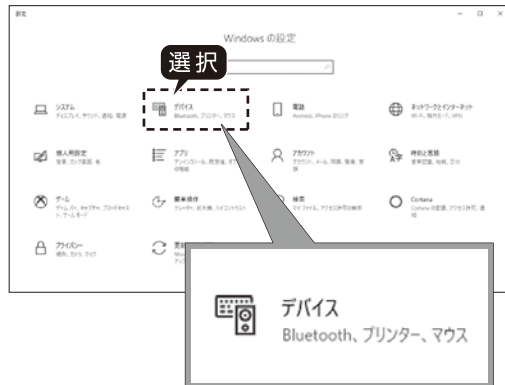
※ペアリング済み機器がBluetooth設定ONの状態に近くにあると、本製品がその機器との接続を優先するためペアリングモードにならない場合があります。新たな機器とペアリングをおこなう際は既にペアリング済みの機器のBluetooth設定をOFFにしてください。※ペアリングモード(LED赤青交互点滅)が約5分間継続すると、本製品の電源は自動的にOFFになります。

2 設定画面を開きます。

デスクトップ画面左下のWindowsマーク上で右クリックしてください。ポップアップメニューから「設定」を選択してください。



3 設定画面から「デバイス」を選択してください。

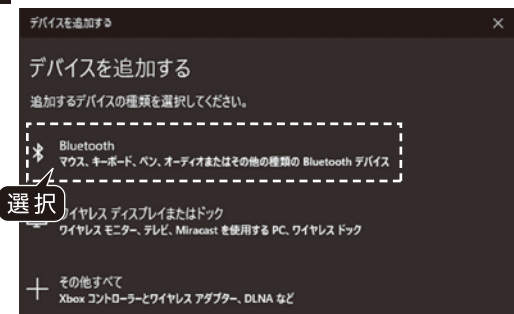


4 「Bluetoothとその他のデバイス」を選択。

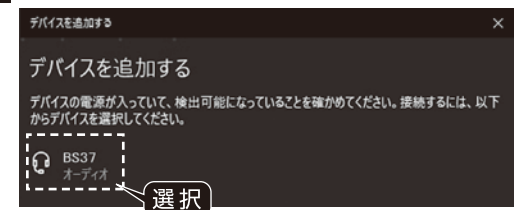
「Bluetoothまたはその他のデバイス」を選択。Bluetooth機能を「オン」にして、Bluetoothまたはその他のデバイスを追加するの「+」を左クリックしてください。



5 「デバイスを追加する」が開きます。Bluetoothを選択。

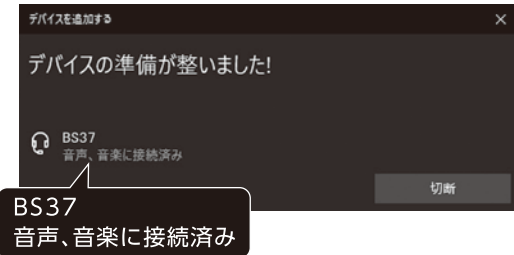


6 BS37を選択。



7 接続完了。

接続が完了すると下記画面が表示されます。



■ステレオイヤホンの音量、マイク入力音量設定

ステレオイヤホンの音量やマイク入力音量はパソコンでの設定で変更できます。

▶ 「システムを選択」→「サウンドを選択」→サウンド設定画面内で「出力」・「入力」設定をおこなってください。

※詳しい設定については、お使いのパソコンの取扱説明書などでご確認ください。

■パソコンにBluetooth機能が搭載されている?

下記操作でBluetooth機能が搭載されているかを確認できます。

▶ 「デバイスマネージャーを選択」→デバイスマネージャー画面内に「Bluetooth」の表示が無い場合は、搭載されていません。

※詳しい設定については、お使いのパソコンの取扱説明書などでご確認ください。

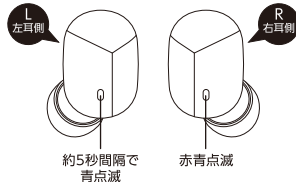
■パソコンとの接続方法 Mac OSの場合

本製品をパソコンで使用するためには、パソコンと本製品をペアリング・接続をおこなう必要があります。

記載されている手順は参考です。
※画面表示が異なる場合があります。お使いのパソコンの取扱説明書などでご確認ください。

1 本製品をペアリングモードにします。

充電クレードルから先にR側イヤホンを取り出し、次にL側イヤホンを取り出してください。イヤホンの電源が自動的にONになり、しばらくすると左右のイヤホン同士が接続し、R側イヤホンの表示LEDが赤青点滅しペアリングモードになります。L側イヤホンの表示LEDは約5秒間隔で青点滅します。



※ペアリング済み機器がBluetooth設定ONの状態と近くにあると、本製品がその機器との接続を優先するためペアリングモードにならない場合があります。新たな機器とペアリングをおこなう際は既にペアリング済みの機器のBluetooth設定をOFFにしてください。
※ペアリングモード(LED赤青交互点滅)が約5分間継続すると、本製品の電源は自動的にOFFになります。

2 システム環境設定を選択します。

デスクトップ画面下側のDockメニューより「システム環境設定」を選択し開いてください。



3 システム環境設定内の「Bluetooth」を選択します。

システム環境設定内の「Bluetooth」を選択し開いてください。



4 Bluetooth機能をONにします。

Bluetooth機能が「切」の場合は「入」に設定します。



5 BS37をペアリングします。

デバイス内にBS37が表示されます。「ペアリング」を選択します。



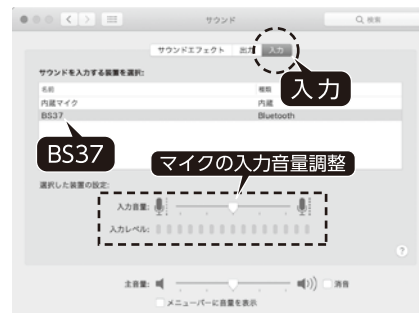
6 BS37が接続されます。

ペアリングが完了するとBS37が「接続済み」と表示されます。



■ステレオイヤホンの音量、マイク入力音量設定

ステレオイヤホンの音量やマイク入力音量は「システム環境設定」で変更できます。システム環境設定内の「サウンド」を選択し開いてください。



※詳しい設定については、お使いのパソコンの取扱説明書などでご確認ください。